

4月号

# 光市医師会報

No 175

I love 光



(光税務署前)

## なぎさへの道

〔さわやかな風とさざな波の音にさそわれて  
人々はしばし、やすらぐ、なぎさへの道は  
今日も旅人をあたたかく迎えてくれる〕

昭和62年 5月発行  
光市医師会

# 医師会月間行事

## S62年4月度理事会

4月7日(火) PM7:30~  
於 光医師会館

### 議 題 (報告・協議事項)

1. 光ヶ丘高校、校医の推薦について  
(竹中会長)
2. 光三師会総会の報告
3. 心臓検診の件
4. ムンプスワクチンの件  
(以上福本副会長)
5. 定例総会の協議事項について  
(竹中会長)

## S62年4月度臨時理事会

4月13日(月) PM7:30~  
於 光医師会館

### 議 題 (報告・協議事項)

1. 定例総会の協議事項について  
(竹中会長)
2. 生涯教育担当理事協議会の報告  
(板垣理事)
3. 高畠先生傷病見舞の件
4. 光市医師会史編纂の件

## 学術講演会



S62年4月16日(休)  
PM:7:00 スライド説明(テオドール)  
PM:7:15 特別講演  
於 光市保健センター  
演題:「気管支喘息の最近の治療」  
講師:済生会下関総合病院  
呼吸器科部長 中島明雄先生

光市医師会史完成。  
4月27日 全会員に配布完了。  
大野先生はじめ、委員会の皆様、  
御苦労様でした。



## 昭和62年度 光市医師会定時総会



S 6 2 年 4 月 2 3 日 (木)

PM : 3 : 30 ~ 4 : 35

於 松原屋

出席者 24 名 委任状提出者 20 名

広田議長：開会のことばを述べ、会員総数  
46 名中 44 名にて過半数に達  
しており総会の成立を宣言する。

竹中会長：開会にあたり、会長挨拶をされ  
る。

今年 3 月 12 日逝去された平岡  
恒郎会員の御冥福を祈り黙禱す  
る。

広田議長：議事録署名委員に守友雅彦氏、  
赤崎信正氏を指名し議事に入る。

### 議案審議

第一号議案

昭和 61 年度事業報告 (福本副会長報告)

第二号議案

昭和 61 年度会計報告 (近藤理事報告)

次いで基金の部の収支決算報告

(渡辺監事報告)

第三号議案

昭和 61 年度納税組合収支報告

(渡辺監事報告)

第四号議案

昭和 61 年度労働保険事務組合会計報告

(中村 琢 理事報告)

会計監査報告 (田中監事報告)

★第一より第四議案迄質問、異議を求めら  
れたが、大した異議なく、全員の賛成拍  
手で承認された。

★第五号議案よりは河内山(清)副議長により  
議事進行する。

第五号議案

昭和 62 年度事業計画(案)会長説明内容は  
後述の通り。

第六号議案

昭和 62 年度収支予算(案)近藤理事説明

第七号議案

総会決議権限の委任について 会長説明

★第五号より第七号議案迄質問異議を求め  
たところ、大野顧問より「光市医師会史  
の編纂委員会はまだ開散してないがその  
後の費用はどこから出のか」の質問あり、  
竹中会長より「雑支出から出すこと  
になると思います」との回答あり。他に  
大した異議なく全員賛成の拍手にて決議  
承認された。

第八号議案

裁定委員選出の件

竹中会長より裁定委員であった渡辺幹先生  
の退会に伴い一名欠員となったので後任を  
決定したい、任期は残りの一年間である。

河内山副議長：どのような方法で決定する

かとの問いに「会長一任」との意見あり。竹中会長より「中村国雄氏」にお願いしたい」との意見を出され、全員賛成の拍手で決定された。

広田議長：閉会を宣言する。

福本副会長：閉会のことばを述べる。午後4時35分終了。板垣学術担当理事より日医講座出席者に日医会長の証書を授与す。午後4時50分より、貝原光税務署長の講演あり、「税制改革」「売上税」を主に話された。



★午後5時半より三階和室に於て光市長等来賓9名、医師会員32名出席し、賑やかな懇親会となり午後7時半開散し、二次会へと流れ、無事総会を終了した。

## 昭和62年度

### 光市医師会事業計画(案)

光市医師会長 竹中昭二

昭和61年末、医療保障制度の確立という美名のもとに、老人保健法が改訂され老人医療費の自己負担強化や中間施設制度化による医療費の抑制等、医療よりも財政優先の行政処置が強化され医療をとりまく環境は極めて厳しいものがあります。

かかる中におきましても急速に進歩する医学、医術を常に研鑽し、人間性尊重の医の倫理に徹し、地域住民の医療と健康を確保し社会福祉に貢献する事が、われわれの責務と考えます。

このような意味を充分勘案し又、光市医師会定款第3条に明示してあります本会の目的を達成するため、昭和62年度事業計画を次ぎの様に立案いたしました。勿論、当計画(案)の実践につきましてもは会員各々の意見を尊重し、民主的且つ効率的な運営をより一層円滑化したいと考えております。

#### 1. 月例会について

従来実施して参りました通り毎月1回定期的に実施いたします。(総会等医師会の大きな行事のある月はのぞく)、情報伝達の間として、又、協議の間としてのディスカッション等大いに活用して頂きたいと考えております。又、出席する事が親睦にもつながる事と思しますので、是非出席率の向上にご協力をお願い致します。尚、次ぎに述べます生涯教育に関連して研修の間とする計画も立案いたし、多くの機能が発揮

され充実した月例会になる様にしたいと考えておりますので積極的な参加をお願い致します。

## 2. 生涯教育関係について

日本医師会は、昭和61年度に於て、生涯教育の制度化を試行、本年度より本制度化に踏み切る事になった様であります。当医師会も昨年度より従来の学術委員会を改称、改組し生涯教育委員会として、活躍して参りました。即ち、下松市医師会と隔月に学術研修会を開催する事を実行して参りましたが、本年も引き続いてこの計画を踏襲します。新しい医療技術の修得、或は医療内容の吸収は地域医療の充実、向上に貢献出来、又、医事紛争の防止にも大いに役立つものと思われまますので、研修会開催或は研修会に関する情報提供には特に力を注ぐ方針であります。

又山口県医師会関係の研修会、学会への参加を容易にするため、研修バスを運行いたしました。本年度も引き続きこの計画を継続する事に致しております。

## 3. 保険、税務関係について

健康保険と医業経営は密接な関係にあり、重大な関心を寄せている問題です。この度の老人保健法改訂にみられる様な医療費個人負担の増額、また、保険監査の強化、医療費通知の実施等、種々な形で医療費の締めつけが厳しくなっております。大巾な医療費の引き上げも望めない現状に於ては医療経営の困難さは持続するものと考えられます。従って保険診療の向上、ミスによる点数減少の防止等の為、保険情報伝

達の緊密化、或は、適宜保険診療講習会を持たなければならないと考えております。

尚、昨年度迄、健康保険及び国民健康保険の明細書の集配を薬品卸会社に依頼しておりましたが、本年度より医師会独自の集配体制をとる事となりました。従来に比べて多少のサービス低下になる事とは思いますが御協力の程よろしくお願い申し上げます。

税務に関しましては、白色申告者の記帳が義務づけられ事務の複雑性が増加しました。又、一人法人制度の発足等会員各位の税務体系も多岐にわたると思ひますが、何れにしても徴税の強化は益々進むものと思われまます。必要に応じて税務講習会の開催も考えております。

## 4. 地域医療関係について

地域医療活動につきましては、会員各位が日常診療を通じて、地域住民の保健の為につくしておられる事は周知の事実であります。日常診療以外に、休日当番制をはじめ、学校医活動、産業医活動、各種検診、予防接種等多大な貢献をして参っております。本年度も先日、休日当番医割当表、予防接種検診日割表を配布しましたがご協力の程お願い致します。

学校医活動につきましては、従来児童生徒の心臓検診で懸案となっておりましたB方式をあらため、A方式を採用実施する事に致しました。

また、老人保健法による検診業務につきましては、昨年同様、或はそれ以上の密度をもって実施する方針で、随時行政機関とも連絡をとりながら検診業務の遂行、地域

住民の健康増進に万全を期す心算であります。

#### 5. 広報関係について

光市医師会報も昭和62年3月号で174号に達しました。担当理事の半強制的な原稿依頼と、会員各位の御協力によりユニークな会報編集が出来ました。本年度も引き続き情報提供紙としてのみでなく、会員皆様の意見発表の場、或は研修用に、息抜きのページ等としての活用を考えておりますので御投稿の程お願い申し上げます。

光市医師会史の編纂事業も、編纂委員長を始めとして委員の方々の御努力により最終段階に入り、本年度完成、製本される事になっております。

#### 6. 福祉関係について

会員間の親睦と信頼を深める為に例年行われております諸行事（納涼懇親会、忘年会、新年互礼会、等）は従来通り行う予定であります。又、勤務者に対する永年勤続表彰や、これに伴う行事も例年にならって行う予定です。

#### 7. 勤務医も開業医との関係について

日本医師会生涯教育推進会議に於ても病診連携の必要性について日本医師会に提言しております。光市医師会に於きましては、勤務医側より生涯教育担当理事として医師会業務に参画して頂いており、病診間の友誼的交流はスムーズに行われているものと確信しております。新しい医療知識の吸収、或は、患者紹介等実地診療上の問題等の為にも、現在のスムーズな関係がより良く保

たれるようにお互いの意思の疎通を図り親睦を深める為に、種々の機会がもてる様に努力していく心算であります。

#### 8. 山口県医師会100周年記念事業関係について

100周年記念事業として、山口県医師会として各種の行事を予定、準備中である事は御承知の通りであります。

昭和62年11月23日には、当医師会受持ちによるゴルフ大会が周南カントリークラブで行われる事になっておりますので御協力お願い申し上げます。

又、11月28日(土)、29日(日)にはメインイベントであります記念式典、記念講演会及び記念県医学会が山口市で行われる予定になっております。多数参加される事を希望します。

以上、昭和62年光市医師会事業計画の概要を説明致しましたが、この他、医事紛争、麻薬、学校医等に関する研修会或は講習会を時に応じて実施し、医事紛争防止、学校保健の向上、医療基盤の安定に役立たせたいと思っております。

尚、昭和61年度総会に於て、光市医師会定款及び諸規則の改定、整備の件につき一言意向を述べましたが、機未だ熟さず、定款等委員会の設置も行われずその儘になっております。時機が参りましたならばその線に沿って実行計画をたてる心算であります。

会員各位の積極的な医師会参加と、活発な御意見をお願い申し上げます。

謹 弔

ニューフェイス



昭和62年4月18日 午後3時25分  
小嶋史郎先生ご逝去されました。  
享年80才。謹んで哀悼の意を表します。

＊小嶋史郎先生プロフィール

明治40年6月15日生  
山口県出身、熊毛群熊毛町三丘安田

昭昭和23年2月17日、光市医師会発足  
と同時に入会

昭和30年4月1日～昭和34年3月  
31日迄 理事（4年間）

昭和43年4月1日～昭和52年3月  
31日迄 副議長（9年間）

＊昭和24年5月19日～昭和58年3月

31日迄 県立熊毛北高校医（34年間）

昭和46年4月1日～昭和58年3月

31日迄 三丘小学校校医（18年間）

以上



山本 薫 先生 光市立病院 産婦人科  
生年月日：昭和27年9月15日 34才  
本 籍：山口県下松市  
現 住 所：山口県光市虹ヶ浜15-14  
出 身 校：関西医科大学

メッセージ

今年で産婦人科を初めて早10年となり  
ました。入局当時、10年目の先生と言え  
ば立派で堂々としていると思っていたが、  
いざ自分はと思うととても頼りない。

そんな私が光市立病院産婦人科に4月1  
日より勤務することになりました。関係者  
の方々には色々ご迷惑をおかけするかと思  
いますが、そこは少し長い目でみてやって  
下さい。

今後とも宜しくお願い致します。

趣味という病変は広範囲に及んでいるが  
多くは早期治癒（金欠という薬が常備して  
あるため）してしまい、全身に瘢痕（ガラ  
クタ）がのこるのみでたいへん見苦しく、  
これと言って誇れる様なものはない。

家族は嫁さん（？才）と悪がき（3才）、  
まだ哺乳瓶の大好きな娘（1.5才）の4人暮  
しである。

## うちかたの先生



光市立病院 芦田一郎先生編

光市立病院の芦田先生を紹介します。昭和29年2月29日（戸籍上は3月1日）生まれ。外見はとて30才を過ぎているとは思えない位若く、スタイル抜群!!清潔感あふれ、ギブス等で汚れることも多いのに、上から下までいつもハイセンスで決められています。いかにもテニスやウインドサーフィンなんておちゃのこさいさいに見えるのですが、スポーツは苦手で、趣味は囲碁。腕前も上々と聞いています。性格は、とても几帳面。とかく医師の指示簿は有名人のサインのように読解しにくいものですが、英語のスペルもブロック体で、わかりやすく大変助かります。時間を無駄にしたくないという信念を持っておられ、申し送り等で廻診の時間が遅れると、表情はいつもと変わらず穏やかなのですが、右手に持っておられるボールペンをカチカチ。指先にイライラが集中しているかのようです。廻診が始まると同時にスタスタ。先生の一步に看護婦は小走りについて行きます。そんな先

生ですが、どんなに急いでおられても、患者さんがあれこれ訴えると、じっと足を止め最後まで訴えを聞いてあげられます。先生!早く!早く!と、時には思うこともありますが、患者さん本意の考えがそこにあり、私たち看護婦も忙しさに忘れがちになっていることを反省させられます。だから子供から、おじいちゃん、おばあちゃんに至る幅広いファン層があるんでしょうネ。医者というのは、夜も昼もなく入院、処置と何かと拘束され新婚生活もままならず、まだ御子様にくぐまれません。「忙しくて僕元気がないのかな。」と、真面目な顔で言われ、それが何とともかわいささえ感じられます。時々、「きょうは、何かあったらポケットベルネ。」と言われ、香辛料の臭いをブンブンさせて準夜帯で来られることがあります。「今、奥さん連れてお肉食べて来た臭う?。」と、空腹の看護婦にハァー。臭いだけなんて、何てやさしいんでしょう!?患者さんに接されるように、看護婦にもやさしかったらいいのになぁ。

先生!早くパパさん先生になって、今以上にやさしい先生になって下さいネ。これからは頑張ってください。

おわり







二年位前から一週間に一回位の割合で通院して来る85才になるお婆さんがいる。

病気は肩コリ、初期の白内障、膝関節症である。見た目には顔立ちもよく、美形で背筋もしゃんとして、昔生花か小唄の師匠でもしていたのではないと思われる様な感じで和服の時も洋服の時も美事な着こなしで粋筋の感じさえ受ける。

お婆さんが話しかけて来る時の冒頭の言葉は「私はねえ先生」である。この頃物忘れが著しくなり、特に患者の名前がすぐ出て来ない事がある。

そんな時「私はねえ」のお婆さんの名前は誰だったろうなあと聞くと「ああ〇〇さんですか」うんそれぞれと云った様な按配である。そのお婆さんが最近特に眼が見え難くなって、新聞を読むのに苦労すると云う。最近老眼鏡を5万円以上も出して買い替えたが変りばえがなくて難儀しているが、何か好い方法は有りませんかという。そんなに見え難いなら、仕事をする訳でも無いから虫メガネでも買ったらと云う事で、雑貨屋に自宅まで届けさせて、よく見える

ものの中で一番度の弱いものを撰択する様注意しておいた。定期便の様に一週間位経った頃小さな手提袋に入れた老眼鏡と大きなピカピカ光る虫眼鏡を出して「私はねえ」に続いて、よく見えます。新聞でも、雑誌でもよく見えます。こんなよい物があるのにどうして今まで教えて呉れなかったかとネンゴを云われる始末と相成った。

お陰様でこのためかどうかが分かりませんが何やら肩の凝りも治った様で今日は電気だけにして注射は一寸休んで見ましようか。

お婆ちゃんよう見えて読むのは好いが眼鏡の度が強いから余り長い間根つめて字を読むと眼が疲れるから休み休み読む様にしないと……。

ハイ!!この頃は余り長く続けて読んでいたので同じ様な事を娘にも云われて叱られてばかり居ます。



### あ と が き

若葉が美しい季節となり、光医師会定時総会も無事終了し、いよいよ初夏を待つ雰囲気になって来ました。

総会では、例年になく税務研修会の附録もつき会員の出席もよく生涯教育にはずみがつき、昭和62年度の光医師会面々の活躍が期待出来そうです。



光医師会  
ファイト!!  
ファイト!!

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社